

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成25年度 第2回）

開催日及び場所	平成25年8月29日(木) アスト津 4階 研修室A	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 石黒 覚 委員 岩田 広子 委員 長谷部 拓哉 委員5名中5名出席	
審議対象期間	平成25年4月1日から平成25年6月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	4件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	1 水質調査業務委託の指名競争入札において、落札率の低い案件があった。水質調査などの業務は、作業員の経験や技術など人的要素が多く、低い価格で落札された場合にあっては、契約内容の適正な履行や品質が確保されない恐れが高くなることから、最低制限価格を設定することが望ましい。今後、最低制限価格を設定しない場合は、その妥当性を十分検討したうえで行われたい。 2 低入札価格調査において、資材購入予定先や下請予定業者等の協力会社に対するしわ寄せの恐れがないかの調査過程が審議資料で確認できなかった。今後、低入札価格調査の審議においては、低入札価格調査マニュアルに基づき実施した協力会社に対する対価が正当なものであるかの調査の過程及び結果がわかる資料を提出されたい。	

入札等監視委員会 平成25年度 第2回定例会 (平成25年8月29日 14:00~16:00)	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 一般国道477号四日市湯の山道路道路改良工事(東名阪アンダー照明設備)〔四日市建設事務所〕	
<p>・低入札調査で、見積内訳書の一般管理費の額が設計の一般管理費の額の30%以上でなければ失格になるということを各業者は知らないのか。</p> <p>・低入札調査において、下請業者等協力会社に対してしわ寄せがないかはどのように確認したのか。</p> <p>・下請業者の労務費が社会的な労賃よりも低くないかの調査はしているのか。</p>	<p>・要領が公表されているため、各業者は失格となる判断基準をわかっているが、設計においての一般管理費の金額が事前にわからないため、30%を下回り、失格となることがある。</p> <p>・下請業者、資材業者から徴収した見積書も低入札調査資料として提出させ、それが落札候補者の見積内訳書に適切に反映されているかを確認している。</p> <p>・個別に労務費までは審査していない。見積内訳書の判断基準で直接工事費等それぞれの費目で下限を設定していることから、極端に安い労務単価は計上されてないと判断している。</p>
工事名 一般国道25号外2線道路除草業務委託(その22)〔伊賀建設事務所〕	
<p>・他の箇所も高落札率、1者入札となっているのか。</p> <p>・この箇所の昨年の落札率と参加者数は。</p>	<p>・他の箇所では、落札率は約93%から約85%であった。また、1者入札はなかった。</p> <p>・落札率は92.9%、参加者は2者だった。</p>
工事名 三重県熊野庁舎浄化槽プローア室建築他工事〔総務部管財課〕	
<p>・企業要件にSRC造、RC造で延べ面積10㎡以上の新築等の施工実績を求めている理由はなにか。</p> <p>・辞退する会社が多かったのはなぜか。</p>	<p>・今回の建物の構造が新築のRC造で延べ面積9.9㎡であることから、これと同等以上の実績を求めた。</p> <p>・災害復旧が行われている熊野地域の工事であり、材料費の上昇と人手不足により採算があわないと判断したものとと思われる。</p>
工事名 宮川第一発電所他1箇所1号水車発電機等内部点検手入工事〔三瀬谷発電管理事務所〕	
<p>・入札参加資格を満たす業者は何者あるのか。</p> <p>・前回12年前の契約業者も今回の落札者と同じ業者か。</p>	<p>・全国で8者ある。</p> <p>・違う業者である。</p>
工事名 櫛田川圏域土砂災害防止法(基礎調査その2)業務委託〔松阪建設事務所〕	
<p>・総合評価方式の場合は、技術評価点をとれば、価格はあまり問題にならないのか。</p>	<p>・技術評価点200点満点、価格評価点100点満点で、あわせた点の評価値で落札候補者を決定する。価格評価点100点となる基準価格をいくら下回っても点は上がらないことから、入札参加者は基準価格に近い値で応札するため、価格については差がつかず、ほとんど技術評価のところで決まる。</p>
その他	
<p>・次回、平成25年度第3回入札等監視委員会の開催日は、平成25年11月25日(月)の予定とする。</p>	